

★★★★★ カンボジア・ニュースレター 第7号 ★★★★★

2017年6月9日～7月7日の宣教旅行報告

★★ 御祈り手の皆様、主は生きていませり。御祈りのお答えの御報告です ★★

「わたし自身が一緒に行って、あなたを休ませよう。…もしあなたご自身がいっしょにおいでにならないなら、私たちをここからのぼらせないで下さい。」(出 33:14～15)

「わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいよう。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。強くあれ。雄々しくあれ。わたしが彼らに与えるとその先祖たちに誓った地をあなたは、この民に継がせなければならぬからだ。ただ強く、雄々しくあって…すべての律法を守り行え。これを離れて右にも左にもそれてはならない。それはあなたが行く所ではどこでも、あなたが栄えるためである。」(ヨシュア 1 : 5～7)

6月9日(金)、力強い御約束の御言を握らせて頂き、この度の特別に重要な会合が含まれたカンボジア宣教の働きの為に出発しました。とても全部の出来事を記録するには書ききれない、KCCの「歴史的」出来事となる御業がなされた、此度の一ヶ月間の滞在でした。

皆様方に御祈りをお願いしておりました KCC の本部となる土地と建物の件で米国のサバーター教会の宣教チームの三人の代表の方々と会合が第一目的でしたが、話し合いの結果、主は御心を求めて祈っておりました経済的支援の扉は米国に非ず、と確認しました。然しカンボジアの伝道者方の心に些かの動揺の影もなく平安と共に生ける主に目をとめ続けている霊的成長を確認する機会ともなりました。そしてこれは人間的援助の道が全く閉ざされて、神様にだけ期待し全ての必要を主から受け取る訓練の時だったことを知る時がきました。神様のタイミングと私達の時の「ずれ」を文句なしに受け入れた時、素晴らしい結果を齎らせる最高の教訓を学ばせて頂きました。

詳細のストーリーは紙面が足りませんので省略しますが、米国教会の代表者方が帰国されて数日後、思いがけない恰好の建物が建設中、しかも、2年以内に完成予定の新開拓地の売り出し物件があることを知り、私達は建設地に建てられているモデルハウスを見に行きました。1年半～2年の予定で完成の為、完成した場合の価格の半額で販売されており、事務所には次々と購入希望者が押し寄せてきて、凄く速く売却されており、一日遅れると希望した位置の建物は売却済みとなる程の物件でした。祈りつつ、結論としてこれが主が与えて下さった土地と建物と信じて、幾つかの紆余曲折がありながら、「神様が！」としかいえない道筋を経て入手の手続きに入ることができました。これは背後の日本での御祈りへのお答えとしか言えません。栄光は一切主に御返しして、これからも尚、引き続き残りの支払いが完了するまで、必要が満たされますよう主にのみ期待をおいて、祖国の教会の力ある祈りによる本部の建設を見ることが出来ますよう引き続き、モーセの執成しの祈りを続けて頂きましたら感謝です。

もう一つの御祈りの課題でしたマーク宣教師のオートバイ事故、左鎖骨骨折の為、入院、手術、無事退院されるまで大きな試練を受けられた事でしたが、丁度私のカンボジア到着の日、午前中に吊るしていた左手の三角巾がはずされて、午後の到着時刻には Vandy 師と

同伴されて迎えにいらして下さいました。筋肉がつくまで完全快復にはまだ数ヶ月を要するようですが、既にモーターバイクを使用して自宅と教会を往復しておられます。大きな感謝です。尚、全的癒しの為に御祈り下さい。

Vandy 師は現在開拓中の教会で救われた青年の中から二人と弟子訓練のコースを開始、まだ福音を知らない友人・知人に伝道する宿題を与えられ、教えられた聖書を伝える事に真剣に当たっています。求道者が与えられ、伝道の結実にいたしますよう御祈りください。

★★★写真による報告★★★

米国からの支援隊の方々との会食



右手前、ヴァンディ牧師と後に Dick 氏

KCC 本部と IGM 宣教師館の建物のモデル



モダンな建築で 3 軒繋げて購入できました

Vandy 師の弟子訓練メンバー(右の二人)



称してサッカーを教えますが、その前に 1 時間求道者の青年達と聖書の学びをします。

日曜日の夕方からスポーツミニストリーと



←左はフィリピン・ロザリスの W 神学校に「留学」されたクメール人同窓生メンバーです。左から；グレッグ先生(シニブシップ出身)、ヴァンディ先生とチーンホー先生(彼は今、W 教会から独立してシャロームという群を建て上げ、此度のチャック先生方をお招きして伝道者セミナーを開き幸いな研修の時が開かれました。奥様は平信徒として献身的に御主人を支えつつ、CS・婦人への伝道のリーダー格。